

# 中国・アジアダイジェスト

2018.12.17—2019.01.11

\*記事は東京発行・最終版

## CHINA

大和総研は、ベトナム大手ICT企業のFPTコーポとAIを使った日本語による自動応答ソフト（チャットボット）の開発にめど（12月19日付）



量産用の食品用大型蒸し機の海外生産を2021年までに始める。中国などの協力会社に委託して生産能力を拡大し、コストの低減も進める。（8面）

**ボーイング、中国初完成機**  
737 MAX / 中国国際航空に納入  
ボーイングは、中国で初めて完成させた同社旅客機737 MAXを中国国際航空に納入した。くすぶる米中貿易摩擦を横目で見つめ、中国での製造に足を踏み入れた。（9面）

**鉄連会長「鉄冷えにならない」**  
中国の鉄鋼輸出増加懸念  
日本鉄鋼連盟の柿木会長は、増加した場合の影響が懸念されている中国の鉄鋼輸出について「鉄冷え時代と呼ばれた」2015—16年のような状況にはならないだろう。（23面）

**日本製粉、中国・タイ増産**  
中国3倍 / 年1万2000ト  
日本製粉は、中国現地法人のプレミアム（調製粉）工場が完成、稼働した。生産能力は3.3倍の年1万2000トになる。タイ工場も増強が完了、40%増の年2万8000トに。（25面）

**住友理工、中国に営業本部**  
車用/防振ゴム・ウレタン製品  
住友理工は、中国で現地自動車メーカーへの販売に特化した「中国自動車営業本部」を新設する。自動車用の防振ゴムやホース、ウレタン製品で現地ニーズに応じた提案力。（6面）

**滝川工業、中国で委託生産**  
食品用大型蒸し機  
滝川工業は、コンペヤーを搭載した

**竹田印刷、ベトナム進出**  
メタルマスク新工場 / 車載用  
竹田印刷は、ベトナムで車載向けなどの電子部品実装工程用メタルマスクの生産に2019年6月乗り出す。同国に拠点を持つ日系の車載用電子部品メーカーを中心に供給する。（7面）

**タイ、ロボ産業の振興策拡充**  
S I などにも税優遇  
タイ政府は、ロボット産業の振興策を拡充。周辺機器を含めS I など関連産業に税優遇策を導入。ロボの生産拠点を設けた企業への優遇策などと合わせて育成を積極化。（10面）

**キャップ、韓国増産**  
射出成形金型 / MC 導入  
キャップは、自動車関連向け射出成形金型需要に対応し、韓国子会社の生産能力を拡充する金型切削加工用のMCを導入するなど年5000万—1億円ペースで設備投資を予定。（6面）

**ベトナムで配管量産**  
多岐製作所 / 下水処理場拡張  
多岐製作所は、ベトナムの製造販売子会社「ピナタク」で、ホーチミン市の下水処理場拡張工事向けプレファブ配管の量産を始める。配管350トを2019年夏までに納入する。（15面）

**古河電工、ベトナムに新工場**  
ワイヤハーネス4倍  
古河電工工業は、アルミニウム電線などの工場をベトナムに新設する。自動車の電動化を背景に、軽量なワイヤハーネスの需要が増加。生産能力を2021年に4倍に。30億円投資。（1面）

**現代自、ロシア大幅鈍化**  
来年5—6%の伸びに  
韓国・現代自動車のロシア現地法人

**技術移転の強要を禁止**  
中国 / 対米譲歩  
中国は、外国企業に技術移転を強要することを禁止する法律の制定に着手した。米中との貿易戦争の早期終結へ、知的財産権の保護を強化。中国のビジネス環境改善に。（時事=2面）

**長津製作、車用ブラ部品増産**  
金型8割内製  
長津製作所は、中国で自動車向けプラスチック部品を増産する。現地工場に成形用金型の製造設備を導入済み。金型の内製を8割に。自動運転技術向け部品の精度向上を目指す。（5面）

**中国新車、11月5社マイナス**  
トヨタ、最高更新  
日系自動車6社の中で11月の新車販売は、トヨタ自動車は最高を更新。5社が前年同月比マイナス。中国全体が減速傾向。マツダ、三菱自動車、スバルは2ケタの落ち込み。（6面）

社名	台数
日産	150,139 (▼9.2)
ホンダ	136,714 (▼4.3)
トヨタ	135,700 (▼23.8)
マツダ	19,179 (▼42.8)
三菱	11,544 (▼27.0)
SUBARU	2,145 (▼20.1)

単位台、カッコ内は前年同月比増減率%、▼はマイナス

幹部は、ロシアの自動車市場の伸びが2019年に大きく鈍化すると予想。今年12.8%増の18万台の見込みだが、2019年は5—6%の伸びに。（時事=6面）

**クラレ、タイ新工場**  
自動車用の耐熱樹脂  
クラレは、自動車用の耐熱樹脂などを生産するタイ新工場の建設を決めた。高耐熱性ポリアミド樹脂を年1万3000トなど。400億円投資。2021年末の完成を予定する。（8面）

**人型対話ロボを商品化**  
印アジモフロボティクス  
インドのアジモフロボティクスは、人型ロボット「サイアボット」を欧米や日本で商品化。介護などヘルスケア用途を中心に、3万—4万ドル（333万—445万円）での提供を目指す。（7面）

**インド、電子商取引規制強化**  
アマゾンなどに打撃  
インドは、米アマゾン・ドットコムや米ウォルマート傘下のフリックカート・グループなどの電子商取引業者が資本関係のある企業から製品を販売することを禁止する。（時事=9面）

**アークレイ、印に開発拠点**  
臨床検査システム / AI 活用  
アークレイは、AI技術を使った臨床検査システムなどの開発加速を狙い、インドに研究開発拠点を新設した。より正確な診断に貢献する臨床検査システムに。（19面）

**信越ポリマー、タイ企業買収**  
合成樹脂 / 東南ア拡大  
信越ポリマーは、タイ合成樹脂製品メーカー・ハイミックスを買収する。東南アジアで事業拡大を進めるための生産拠点を確保する。信越ポリマーがM&Aするのは初めて。（13面）

**大同特殊鋼、無錫に新工場**  
工具鋼加工 / 車・家電向け  
大同特殊鋼は、中国で工具鋼の販売・加工会社を無錫市に住友商事と設立、移動した。上海から総面積で4倍の新工場に移転。切削や熱処理加工能力を強化。自動車や家電向け。（11面）

**大和証券、中国合併2020年開業**  
フィンテック推進  
大和証券グループ本社は、中国で設立する合併証券会社について、2020年にも営業を開始する方針。また、クラウドファンディングを活用した事業を2019年度にも開始する。（13面）

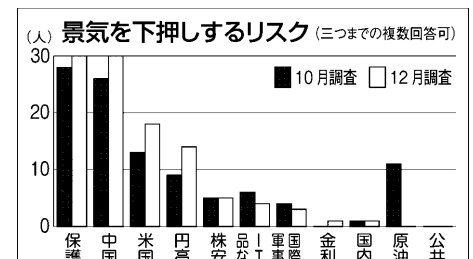
**吉野機械、中国でプレス機械**  
河北力准機械製造と共同出資  
吉野機械製作所は、中国で工作機械の開発を手がける河北力准機械製造と共同出資で、同国でプレス機械を販売する合併会社を設立する。プレスプレキなどの部品を現地調達。（8面）

**キョウトロボ、中国参入**  
物流ロボット  
Kyoto Roboticsは、中国の物流ロボットに参入する。現地企業と新会社を設立。物流施設向けに荷物の荷下りしやパレット積み自動化ロボシステムを提案。（8面）

**ホシザキ、食器洗浄機に参入**  
業務用 / 蘇州工場で生産  
ホシザキは、中国の業務用食器洗浄機に参入する。新開業の現地専用モデル HW-600A を蘇州市の工場で生産。中国の外食産業は2014年からの3年間で年率4割増と急成長。（9面）

**中国—欧州コンテナ専用列車**  
日通 / 船便より速達  
日本通運は、中国—欧州間でコンテナ専用列車（プロックトレイン）を定期運行する。16—17日と船便よりも短く、大量・定時かつ手頃なコストで輸送できる。（15面）

**「中国悪化」「保護主義高まり」**  
景気リスク要因  
「保護主義の高まり」「中国景気の悪化」とする回答が突出。全体の約8割が懸念を示した。日本経済研究センターがエコノミスト39人に国内景気下



振れリスクを調べた。（2面）  
**電動SUV、年内に量産**  
EVベンチャー・バイトン  
中国・EVベンチャー・BYTON（バイトン）は、最初の製品となる電動SUV「M-Byte」の詳細。2019年末に量産、2021年にセダン型、2023年に三つ目の製品を投入。（7面）

**米中貿易交渉—輸入130兆円拡大**  
大豆・LNG  
米中は、北京で次官級の貿易協議。対中貿易赤字の削減案について交渉し、中国が大豆やLNGなど約130兆円相当の物品・サービスを輸入する方向で交渉。（1面）

**新潟のコメ、中国輸出を再開**  
8年ぶり / 上海  
JA全農は、福島第一原発事故以降、停止していた新潟県産米の中国向け輸出を約8年ぶりに再開した。上海で月末から試験販売を始める。禁輸措置は2018年11月に解除。（2面）

**テスラ、上海工場を着工**  
初の100%外資所有  
米テスラが、上海市で100%出資の工場を着工した。初の海外工場。これまで米国製を中国で販売。中国はEVなどの生産に外資出資規制を撤廃。米中摩擦の影響を回避。（時事=6面）

**中国スマホ出荷15%減**  
昨年3億9000万台  
2018年の中国でのスマートフォン出荷は12—15.5%減少した。約3億9000万台。すでに米アップルや韓国サムスン電子が指摘するように中国スマホ市場の厳しい状況が示された。（4面）

**中国・ベトナム周波数に対応**  
データローガー / アドバンテスト  
アドバンテストは、温度などのデータ

「中国・アジアダイジェスト」面  
今回は2月11日に掲載します。

**米中協議—知財で進展**  
中国商務省報道官  
米中次官級貿易協議で、米中が強く改善を求めている中国の知的財産権侵害や外国企業に対する技術移転強要問題で「進展があった」ことを中国商務省報道官が認めた。（時事=1面）

**大型貨物機、中国線に投入**  
ANA / ミシゴにも  
ANA-HDは、導入された大型貨物機を夏から日本—中国線で運航する。ミシゴにも就航する。アジア—中国—北米間の貨物需要拡大を見据え「B777F」2機を調達。（16面）



米中間の輸送需要も取り込み、貨物事業の成長につなげる（ANA HD 片野坂真哉CEO）

**TELOP**  
**中国・低価格自動車向け提供**  
YKK / シートファスナー（18日14面）  
**ベントツ、中国で値下げ**  
米車の追加関税停止（時事=19日6面）  
**上海に銅箔マーカー拠点**  
三井金属（20日23面）  
**セブンイレブン、西安出店**  
陝西養文提客便利にFC（21日5面）  
**IPO総額—香港が1位**  
今年、総額約4兆円（25日3面）  
**蘇州に事業所開設**  
クラウン・バイオ（25日13面）  
**ゴミ焼却発電、長沙市で追加受注**  
日立造船（1日11面）  
**住商、中国国際物流企業に出資**  
オンラインで輸送手配（10日16面）

## ASIA

**DMG森精機、インド生産**  
立型MC / 年200台  
DMG森精機は、インドでの生産を検討。現地企業と協業、年200台規模の立型MCを生産する。インドは受注高が約3割増えた。中国に並ぶ新たな巨大市場に育つとみている。（1面）

**インド・ASEAN共通化**  
ヤマハ発 / 2輪車プラットフォーム  
ヤマハ発動機は、一つのプラットフォームで複数の2輪車モデルをバリエーション展開する戦略の改良型の機体を投入する。インドにASEANと車台を共通化したモデルを投入。（6面）

**インドにセキュリティ施設**  
日立システムズ / 脅威の検出  
日立システムズのインド子会社は、セキュリティオペレーションセンターを開設。24時間365日体制でインド企業などのシステムの監視、脅威の検出、インシデント対応。（9面）

**日本語版チャットボット**  
大和総研 / ベトナム社と開発  
大和総研は、ベトナムFPTコーポと、AIを使った日本語による自動応答ソフト（チャットボット）の開発にめど。顧客向けオンラインサービスの問い合わせ機能。（29面）

**ベトナムで住設に参入**  
パナソニック / ユニットバス  
パナソニックは、ベトナムで住宅設備に参入する。現地の住宅メーカーと提携、シャワーとトイレを備えた「ユニットバス」を開発。あらかじめ主要部品を生産、現地で組み付ける。（4面）

**エスベック、ベトナム進出**  
環境試験器保守で新会社  
エスベックは、ベトナムで環境試験

器のサービス体制を拡充。新会社を1月稼働。電機・電子関連など日系や韓国系メーカーの進出が旺盛な現地に根を下ろした事業展開。（7面）

**タイ、ロボ産業の振興策拡充**  
S I などにも税優遇  
タイ政府は、ロボット産業の振興策を拡充。周辺機器を含めS I など関連産業に税優遇策を導入。ロボの生産拠点を設けた企業への優遇策などと合わせて育成を積極化。（10面）

**キャップ、韓国増産**  
射出成形金型 / MC 導入  
キャップは、自動車関連向け射出成形金型需要に対応し、韓国子会社の生産能力を拡充する金型切削加工用のMCを導入するなど年5000万—1億円ペースで設備投資を予定。（6面）

**ベトナムで配管量産**  
多岐製作所 / 下水処理場拡張  
多岐製作所は、ベトナムの製造販売子会社「ピナタク」で、ホーチミン市の下水処理場拡張工事向けプレファブ配管の量産を始める。配管350トを2019年夏までに納入する。（15面）

**古河電工、ベトナムに新工場**  
ワイヤハーネス4倍  
古河電工工業は、アルミニウム電線などの工場をベトナムに新設する。自動車の電動化を背景に、軽量なワイヤハーネスの需要が増加。生産能力を2021年に4倍に。30億円投資。（1面）

**現代自、ロシア大幅鈍化**  
来年5—6%の伸びに  
韓国・現代自動車のロシア現地法人

**クラレ、タイ新工場**  
自動車用の耐熱樹脂  
クラレは、自動車用の耐熱樹脂などを生産するタイ新工場の建設を決めた。高耐熱性ポリアミド樹脂を年1万3000トなど。400億円投資。2021年末の完成を予定する。（8面）

**人型対話ロボを商品化**  
印アジモフロボティクス  
インドのアジモフロボティクスは、人型ロボット「サイアボット」を欧米や日本で商品化。介護などヘルスケア用途を中心に、3万—4万ドル（333万—445万円）での提供を目指す。（7面）

**インド、電子商取引規制強化**  
アマゾンなどに打撃  
インドは、米アマゾン・ドットコムや米ウォルマート傘下のフリックカート・グループなどの電子商取引業者が資本関係のある企業から製品を販売することを禁止する。（時事=9面）

**アークレイ、印に開発拠点**  
臨床検査システム / AI 活用  
アークレイは、AI技術を使った臨床検査システムなどの開発加速を狙い、インドに研究開発拠点を新設した。より正確な診断に貢献する臨床検査システムに。（19面）

**信越ポリマー、タイ企業買収**  
合成樹脂 / 東南ア拡大  
信越ポリマーは、タイ合成樹脂製品メーカー・ハイミックスを買収する。東南アジアで事業拡大を進めるための生産拠点を確保する。信越ポリマーがM&Aするのは初めて。（13面）

**台湾・建国科大と交流協定**  
公立小松大学  
公立小松大学は、台湾・建国科技大学と大学間交流協定を結んだ。2019年度以降、交換留学などを行う。今後も、連携各校との関係を継承し、新たな交流校を世界で拡大する。（21面）

**日立、新興国エレベーター監視**  
日本の技術、海外に横展開  
日立製作所は、マレーシアやフィリピンでエレベーターの遠隔監視サービスを始める。付加価値の高い保守を提供、収益基盤を固める。日本の技術を海外に横展開。（10面）

**加工油脂の新工場**  
インドネシア / カネカ・三菱商事  
カネカと三菱商事のインドネシア合弁は、加工油脂の新工場を建設する。フリック製品やマーガリンを中心に、生産能力を約5倍の年1万5000トに引き上げる。（4面）

**セーコウ、ベトナムに工場**  
複写機 / ゴムローラー  
セーコウは、ベトナム・ハナム省で新工場を今春稼働する。現地で日系大手事務機器メーカー向けに、複写機やプリンター向け部品のゴムローラーを主に生産する。（11面）

**サムスンTVでアップル番組**  
「iTunes」で購入  
韓国サムスン電子は、スマートテレビにアプリを追加、米アップルの音楽・映画配信サービス「iTunes」で購入したコンテンツを視聴できるようにする。（11面）

**インドネシア技能者を派遣**  
TEK NIA / 派遣と提携  
TEK NIAは、インドネシア教育大学と提携して機械加工など技能者を教育、日本企業に仲介する。仲介前に現地で独自カリキュラムの研修を半年、日本企業での適応支援。（24面）



多岐製作所のベトナム子会社の工場では溶接も有資格者がするなど、日本と同等の品質を目指す

**ベトナム実習生—獲得困難**  
現地と綱引き  
改正入管法が4月に施行。産業界では歓迎の声も多い。送り出す側の国と労働市場の綱引きも。日本に多くの技能実習生を送るベトナムで実習生獲得が困難に。（深層断面=26面）

**環境NGOで就業体験**  
インドネシア / 損保ジャパン財団  
損保ジャパン日本興亜環境財団は、インドネシアの大学生が環境NGOでインターンシップをする支援制度を始める。日本でも人材育成や就職に貢献した実績がある。（15面）

**サカタインクス、バングラ工場**  
食品包装用インク  
サカタインクスは、バングラデシュのメグナ産業経済特区に、食品包装フィルムなどに使うパッケージ用インクの新工場用地を取得した。年産能力は1000ト以上。（15面）

**車載イサ周波数測定装置**  
東陽テクニカ / シンガポール製  
東陽テクニカは、AEMシンガポールと、販売代理店契約を結んだ。車載

イサネット用ケーブルの周波数特性を測定して、ケーブルが車載要件を満たすかを確認する装置。（11面）

**コイズミ照明、ベトナム参入**  
TPP加盟 / 輸出拠点  
コイズミ照明は、ベトナムの照明事業に参入する。TPP11締約国になるなど、自由貿易を進め世界の輸出拠点として存在感が高まる。ASEANの需要開拓を本格化。（12面）

**配車クラブの子会社に出資**  
東京センチュリー / シンガポール  
東京センチュリーは、東南アジア配車大手クラブのシンガポール子会社に出資した。柔軟な期間設定に対応した自動車レンタルや次世代電気自動車など提供する。（21面）

**日立、プロキア株を売却**  
印インフォシスなど3社（17日13面）  
**JFEエンジ、下水処理場受注**  
ベトナム・ハノイ市（18日7面）  
**野原HD、ベトナム合併**  
日本の建設技術普及（18日14面）  
**ベトナム・HDバンクと提携**  
日本公庫（18日23面）  
**塩野義、日台韓で販売権**  
認知機能改善薬 / 米社製（20日23面）  
**ミャンマーで天候指数保険**  
SOMPO（20日29面）  
**インド合併出資引き上げ**  
SOMPO（20日29面）  
**アジア進出日系—好調続く**  
営業黒字企業68%（21日5面）  
**タイ企業支援で投資銀業務連携**  
大和証券G本社（21日23面）  
**インドネシアで石化プラント**  
東洋エンジ（28日8面）  
**シンガポールで不動産事業**  
関電ビル産（28日11面）  
**マニラ都市鉄道を改修**  
住商など受注（8日8面）  
**台湾にフルーツパーラー**  
エア・ウォーター系（10日16面）  
**タイで樹脂造型プラント受注**  
日揮 / 500億円（11日11面）  
**広島銀行、ハノイに事務所**  
中四国の地銀で初（11日21面）